第２期第２回・教育関連学会連絡協議会運営委員会　議事要旨

日　時：2015年8月28日（金）12時～13時半

場　所：お茶の水女子大学　本館135

出席者：佐藤学（委員長）、金子元久（事務局長）、大桃敏行、勝野正章、加野芳正、

深澤清治（角屋重樹代理）、深澤広明、松浦良充、三石初雄

欠席者：秋田喜代美、藤田英典

過半数（9名）の出席があったため委員会は成立する。

１．会費納入状況について（資料１）

　前年度（2014年度）からの未納は1団体、今年度のみ未納は19団体。督促をおこなう。

２．今後の活動方針について

　人文社会科学連合設立の必要性を議論していく場としてゆきたい。

　教員養成系大学のあり方、教育学部の将来性を議論する場がないので、この協議会で各団体の意見や情報を交換したい。

３．第４回総会とシンポジウムの企画について

　2016年3月19日（土）、12時より運営委員会、13時より総会、14時よりシンポジウムを予定する。会場は筑波大学茗荷谷キャンパスで調整する。

　佐藤委員長より日本学術会議幹事会声明「これからの大学のあり方－特に教員養成・人文社会科学系のあり方－に関する議論に寄せて」という資料が配布され、高等教育政策や文科省の目的、教員養成系大学の取り組みなどについて各委員で意見交換が行なわれた。　　　これを受け、シンポジウムの方向性として、国立大学の人文社会科学と教育学の危機についての情報の交流、教員養成系大学・学部の改革の事例、並びに国の教育プログラムのひとつとして教員養成をどうするかについても考えてゆく必要性についても考える内容で実施することとした。

４．その他

　松浦委員より、10月25日に教育学関連諸学会共同シンポジウム「教育改革と学問の自由」を予定しているので、協議会のウェブサイトで紹介して欲しいとの申し出があった。

以上